



岡山シーガルズの選手から技術指導を受ける生徒たち

本校では、働く力、働き続ける力の基礎となる健やかな心と身体を育成するため、生涯にわたり、スポーツに親しめる環境づくりを推進している。その実践の二つを紹介する。

一つは、「晴れの国トッパースリート派遣事業（岡山県体育協会）」を活用した授業実践である。この事業は、優れたスポーツ選手が有する能力や経験を幅広く社会の各分野で生かし、夢を持つことの大切さやスポーツに親しむきっかけづくり、習慣を身に付けることを目的としたものである。本校では、体育の授業を活用し、Vリーグで活躍している岡山シーガルズの選手によるバレーボールの技術指導を受けている。選手とコミュニケーションを図りながら、バ

## プロ選手や地域スポーツクラブと交流

レーボールの基本的な技術を習得し、授業の後半には選手と試合を行う。生徒にとってプロスポーツで活躍する選手と触れ合う機会は貴重な学びの場であり、心の財産にもなっている。

二つ目は、地域スポーツクラブ「スポーツライフ'91天城」とのさまざまなニュースポーツを通しての交流活動である。平成26年度は「健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業（文部科学省）」を活用し、それ以降も年3回の限られた時間ではあるが、継続したスポーツ交流を行っている。障害の有無を問わないニュースポーツは、スポーツを楽しむ心と互いを思いやる心を育成することが可能である。また、年齢差のあるサポートスタッフとの異年齢交流を深める機会にもなっている。

これらの実践は、自らスポーツをしようとする意欲の向上だけでなく、スポーツ観戦を楽しむなど余暇活用の促進にもつながっている。これからもスポーツを通して多くを学び、自らの可能性にチャレンジし続けてほしい。

（木村泰清・岡山県立倉敷琴浦  
高等支援学校教頭）